

活動内容



世界農業遺産長良川の鮎の情報発信及び内水面漁業の担い手育成を目的として、プロの釣り師による講習会、親子釣り教室や釣り大会を行っています。河川に対するリスク管理を含めた講義や長良川流域における取り組み事例の紹介などを通じて、清流が保たれている理由も実感頂けるプログラムになっています。

その他、商業施設やサービスエリアにおける「鮎のつかみ取り体験」「鮎の塩焼きのふるまい」、地元の小学生に対する「世界農業遺産講座」や「クラフト体験」の実施により、認知拡大の取り組みを行っています。

地域の声



当団体は、清流長良川あゆパークにおいて体験業務の運営をしており、「長良川システム（人の生活、水環境、漁業資源が連環する里川のシステム）」の保全・活用・継承を行っています。また、市内外へのイベントにも積極的に参加し、鮎の塩焼きや鮎のつかみ取り体験など、「清流長良川の鮎」に触れる機会を設け、PR活動の実績も積み上げています。

今後も「清流長良川の鮎」のPRへの積極的な取り組みや、次世代への「長良川システム」の継承への関わりが期待されます。

企業の声



近年、川に対する距離感が遠のいている、そんな感覚を感じています。当然、自然そのものである河川には様々なリスクは存在するのも事実です。しかし、自然から学ぶものは、人工物では計り知れない深度があると確信しています。

この土地ならではの歴史、文化、風土を子供の頃から何度も繰り返し体感することで、いつか成長したのちに、同じ目線で世界農業遺産について語り、共に取り組んでもらえる日が来ることを望んでいます。

過疎化の進む田舎ではあるものの、脈々と繋いでいただいたこの清流の恵みを後世に繋いでいきたいと強く感じています。